

# りゅうがく館だより

令和7年 2月号



## インターンシップの受け入れ

令和7年1月29日から1月31日の3日間、鹿児島県立大島北高等学校の1年生がインターンに来てくれました。本の貸し出し・返却といった接客から、本の装備、りゅうがく館の備品チェック、おすすめ本のPOP作成など様々な業務を体験してもらいました。自分たちでテーマを決め、本を選び、レイアウトを考えた特設コーナーづくりでは、とても素敵な展示が出来上がりました。この経験が、皆さんの職業選択の参考になれば幸いです。



【おすすめ本】



【可愛く飾り付け♪】



【真剣に取り組んでいます】



【力作のコーナーができました】

## お知らせ

蔵書点検のため、下記の期間 りゅうがく館図書室を**休室**いたします。

期間：2月25日（火）～3月7日（金）



- ・図書室の立ち入り
- ・本の閲覧・貸出
- ・閲覧机の利用



- ・本の返却
- ・新聞の閲覧
- ・2階や講堂、学習

蔵書点検とは？図書室の本がきちんと揃っているか、正しく並んでいるか、破れた本はないか等を確認する作業です。蔵書の全てを1冊1冊確認するため、非常に時間がかかりますが、図書室にとって大切な作業となります。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 《一般書》

- ・『ミュージカルの解剖学』(長屋 晃一/春秋社)
- ・『喫茶おじさん』(原田 ひ香/小学館)
- ・『根っからの悪人っているの?』(坂上 香/創元社)
- ・『世にもあいまいなことばの秘密』(川添 愛/筑摩書房)
- ・『読書は鼻歌くらいでちょうどいい』(大島 梢絵/辰巳出版)
- ・『旅するタネたち』(多田 多恵子/山と渓谷社)
- ・『バッタを倒すぜアフリカで』(前野 ウルド 浩太郎/光文社)
- ・『日本美のこころ』(彬子女王/小学館)
- ・『誰でも使える画像生成 AI 超入門』(ワン・パブリッシング)
- ・『食パン革命』(バタ子ママ/宝島社)
- ・『古今東西、私が愛したルナーたち。』(センドウ タカシ/つり人社)
- ・『積ん読の本』(石井 千湖/主婦と生活社)
- ・『ゆびさきに魔法』(三浦 しづく/文藝春秋)                  他

## 《児童書》

- ・『アナタノキモチ』(安田 夏菜/文研出版)
- ・『モモ 絵本版』(ミヒヤエル・エンデ/光文社)
- ・『おぼえよう 野球のルール』(片野 全康/ベースボール・マガジン社)
- ・『宇宙の24時間』(ロブ・ロイド・ジョーンズ/小学館)
- ・『10代からのヘルスリテラシー』(松本 俊彦/大月書店)
- ・『十年屋』(廣嶋 玲子/静山社)
- ・『王女さまのお手紙つき』(ポーラ・ハリソン/Gakken)
- ・『おもちのたいそう』(いもと ようこ/金の星社)
- ・『しょうがっこうが、きらいです!』(山本 悅子/あかね書房)
- ・『ぱなしくん』(柴田 ケイコ/PHP研究所)
- ・『そういうゲーム』(ヨシタケシンスケ/KADOKAWA)
- ・『生きものとくらそう! いぬ』(角川アスキー総合研究所)
- ・『子どもだけでつくれる焼かないお菓子』(原 亜樹子/東京書籍)                  他



# 今月のおすすめ本

## 《一般書》



『注文に時間がかかるカフェ』(大平 一枝/ポプラ社)

人と話したいけど言葉がうまく出てこない、吃音に苦悩する若者たちが働くカフェ。誰もが自分らしく社会に一步を踏み出せるよう、斬新な試みを成功させている話題のプロジェクトを取材したノンフィクションです。

## 《児童書》

『ごめんやさい』(わたなべ あや/ひかりのくに)

「ごめんなさい」と言うのはなかなか勇気がいるけど、「ごめんなさい」は仲直りできる魔法の言葉。謝りたいとき、背中を押してくれる絵本です。

